

令和元年10月31日  
西部農林振興センター県央事務所農業普及部大田支所

標 題 大田地方農業士会・新規就農者交流会セッションを開催  
～市場の主導権が代わりつつある。時代に合わせた変化が必要～

(ダイジェスト)

大田地方農業士会は、10月23日に、今年認定された新規就農者の圃場を視察し、その後、石見銀山町並みにある只今加藤家で交流会を開催しました。  
交流会のファシリテーター役を(株)石見銀山生活観光研究所 取締役矢ノ倉利幸氏に依頼し、矢ノ倉氏の巧みな誘導で多くの意見を引き出し、実りの多い会になりました。

大田地方農業士会は毎年、就農5年未満の新規就農者の圃場と農業士圃場を視察し、その後、新規就農者が抱えている悩みや地域の課題について関係機関を交えて意見交換会を開催しています。今年就農した農業者は、直売主体の就農計画を立てていることから「共感できるマーケティング」と「就農者を孤立させない」ことをテーマとした交流会セッションを行うことで、相互が緩やかにつながることを目的にしました。

#大田地方農業で SNS を活用し、つながっていくことを確認し、セッションを終了しました。

農業普及部大田支所では、今後も新規就農者の育成を農業士と共に支援していきます。



就農と同時に法人化  
(ぶどうで新規就農)



圃場整備に併せて畑地化  
(指導農業士)



有機野菜を直売したい  
(デザインもする新規農業者)



巧みなファシリテーター



マルシェいいね！生越会長



#大田地方農業